

## 第1回松山市地域振興構想策定懇話会 議事要旨

### ■日時・場所

日時： 令和5年9月27日（水） 13：30～14：30

場所： 坂の上の雲ミュージアム 3階会議室

### ■出席者

別添「出席者名簿」のとおり

### ■議事内容

#### 1. 開会

#### 2. あいさつ(事務局)

#### 3. 参加者の紹介【資料1】

#### 4. 計画の趣旨・目的【資料2】

- 事務局よりこれまでの経緯や新しく策定する構想の内容、懇話会の位置づけ、策定スケジュール等について説明した。

#### 5. 質疑・地域のまちづくりや計画に関する意見交換

- 出席者より以下のとおり発言等があった。

- ・各地域への距離的な問題は、行きづらさや関わりづらさにつながってしまう。資金面等難しい問題は多いと思うが、駐車場やアクセスの面は課題だと感じている。
- ・商店街がシャッター街化する課題は周辺に大きなショッピングモールができて、集客に影響する要因もあるが、そもそも地域の人が興味・関心がないという面もある。
- ・風早サブセンターゾーンは、7つの地区で構成されている。特定の地区だけではなくそれぞれの地区の平均値を上げていく必要がある。
- ・水産市場があるなどの特性を生かし、三津浜に遊びに来たら海鮮が味わえる、というように地域を訪れたときに楽しめる魅力づくりを地域として何とかできないかと考えている。
- ・地域おこし協力隊が任期満了後もその地域に定住し、良さの発信などをしてもらえるよう、協力隊と地元住民との交流をどのように生み出していけるかが重要。
- ・離島で生活する上では、仕事場の確保と夜間を含めた船の運航が課題である。
- ・最近のNPO活動は、生活に直結した課題や社会課題に関する団体を立ち上げようという動きが多い。
- ・ゾーンごとに基本目標や政策を掲げるとあるが、継続性が重要。その地域に住む若者に地域への愛着を持ってもらい、将来の担い手になってもらうかが重要である。そのためにも小中高生に向けたふるさと教育を実施していく必要がある。
- ・まちの魅力や宝について、そのまちに住む人はそれが当たり前なので価値に気づきにくい。例えばサブセンターゾーン同士で互いに見てみるとそれぞれの価値に気づくのではないか。

- ・船で移動しなければならないという考え方もあるが、普段都会に住み船で移動するという経験がない人にとっては逆にそれも新鮮に感じて魅力になる。同時に船の中で過ごす価値を作り出すなど、マイナスをプラスに変えて考えてみると魅力として発信できるのではないか。

#### 6. 今後の予定について【資料3】

- 事務局より今後のスケジュールについて説明した。

#### 7. その他

### ■会議風景

